

葉山災害ボランティアネットワーク
HSVΝ
平成 28 年度総会 議案書

日時 平成 28 年 5 月 22 日(日)午後1時 30 分より

場所 葉山町消防署 地下講堂

第 1 号議案 平成 27 年度活動報告及び
同収支報告並びに会計監査報告

第 2 号議案 平成 28 年度活動計画(案)

第 3 号議案 平成 28 年度予算(案)

第 4 号議案 役員改選(案)

【第 1 号議案】 平成 27 年度活動報告、同収支報告及び会計監査報告

平成 27 年度活動報告

平成 27 年度は、活動の基本重点事項として、前年度に引き続き、次の 4 点を掲げました。

- 1) 会員のスキルアップと知識体験の共有
- 2) 正会員の発掘と賛助会員の拡大による人的・財政的基盤の強化
- 3) 関係機関・団体との連携強化と認識の共有
- 4) 正会員の交流・参加機会の充実と結束の強化

以下、年初に掲げた活動計画について、実施した活動の概容を報告します。

1. 学習・訓練活動について

○「災害ボランティアセンター運営マニュアル」に基づく訓練活動

◇第 3 回ボランティアセンター設置運営訓練（H28 年 2 月 28 日）

- ・葉山社協と共催で、『災害ボランティアセンターの広報力を高めよう！』をテーマに、日本ボランティアコーディネーター協会城千聡さんを講師に、葉山からの発信力向上を図る訓練を行いました。
- ・参加者は、会員のほか、地域団体、行政防災関係者など合計 40 名。

○葉山の地域に適したボランティアセンター運営とは何かを探る活動

◇『葉山災害ボランティアセンターポータルサイト』の開発と充実を図りました。

- ・“災害が起きた時に＜信頼できる情報＞をいかに共有するのか”をテーマとするサイトの開発です。
- ・サイトの充実状況については、町主催の総合防災訓練会場や、第 3 回ボラセン設置運営訓練会場で公開しました。

◇ICT 研究会（神奈川県が主催する情報収集発信に関する技術的研修会）参加と「DITS（ディッツ）」訓練会参加

- ・ICT 研究会には、昨年度より継続的に参加し、本年度も 10 回参加しスキルアップに努めました。
- ・HSVN 活動に ICT の成果を取り入れた「DITS を使いこなそう」の訓練に会員 2 名参加（7 月 10 日）。

◇“「葉山をもっとよく知ること」が非常時の備えになる！『葉山町歩き』を実施し、地域理解への掘り下げと地域住民との交流を図りました。

- ・「葉山町歩き・木古庭探検」（7 月 12 日）
木古庭地区の地勢、井戸の所在、防災倉庫避難広場整備状況等を現地に赴き確認しました。また、探索中は地域住民との交流を楽しみました。12 名参加。
- ・「葉山町歩き・上山口探検」（11 月 21 日）
上山口地区の地勢、防災倉庫避難広場整備状況等を現地に赴き確認しました。上山口会館では、上山口町内会役員との意見交換を行い、探索途中も地域住民との交流を行いました。15 名参加。
- ・「葉山町歩き・下山口探検」（H28 年 3 月 26 日）
下山口地区の地勢、防災倉庫避難広場整備状況等を現地に赴き確認しました。下山口会館では、下山口町内会役員との意見交換を行い、探索途中も地域住民との交流を行いました。26 名参加。

○ボランティアコーディネーター等養成研修にメンバーを派遣する活動

◇厚木市と神奈川県が共同で行う『ビッグレスキュー』訓練（8 月 30 日）

- ・ツイッターを活用した情報の受発信訓練に参加しました。会員 6 名参加。

◇コミュニティカレッジ参加（7 月 18 日、25 日、8 月 1 日）

- ・MAP 作成訓練、2 名参加。

2. 被災地支援活動について

○葉山町近隣の災害ボランティア活動団体と連携し、町民の被災地支援経験の機会を増やす活動

◇「平成27年9月関東・東北豪雨」被災地復旧支援活動

・栃木県鹿沼市災害ボランティアセンターへ支援

9月21日～22日実施(HSVN自主事業)

12名が乗用車2台、トラック1台にて参加しました。

・茨城県常総市災害ボランティアセンターへ支援

10月20日実施(逗子社協・葉山社協共催バスツアー)

葉山町からは8名参加。

◇3.11被災地復旧応援活動

・「100万人の線香花火ナイト」

8月11日、森戸海岸にて実施、参加者60名。

・「つながりボラバスツアー宮城県女川町・福島県新地町」

12月18日～20日実施(逗子ボラバスターズ主催)

葉山町からは4名参加。



鹿沼市支援

○HSVNの会員が集う“葉山語り場”の開設

◇“葉山語り場”（6月7日）

・「ミニ地図訓練」の後、被災地産食材を使ったバーベキュー懇親会を実施。参加者15名。

◇“葉山語り場”（9月5日）

・「葉山町歩き@上山口探検」に向けた事前の地図研修。参加者10名。

◇“葉山語り場”（H28年3月11日）

・東日本大震災から5年目の日に「あの日を忘れない」ための語り場。参加者10名。

◇“葉山語り場”（3月19日）

・「葉山町歩き@下山口探検」に向けた事前の地図研修。参加者8名。

3. 広報活動について

○町内の各種イベント会場で、HSVNの活動を紹介

◇第40回葉山ふるさとひろば（10月11日）

・役場庁舎正面玄関前で HSVN の活動写真等のパネル展示をしました。また、松かさでクリスマスツリーを作るキッズコーナーや、緊急時に対応できる風呂敷応用指導などを行い、地域との交流に努めました。

・会員個人で被災地応援屋台を開店し、被災地産食材の販売を行うなどの活動もありました。

◇ビッグ葉山マーケット（10月25日）

・元町浜銀駐車場で HSVN の活動写真等パネル展示をしました。

◇葉山町総合防災訓練（11月14日）

・防災訓練の一環として、葉山小体育館を使い「災害ボランティアセンター設置訓練」を公開しました。また、『葉山災害ボランティアセンターポータルサイト』の紹介も行いました。

◇東伏見団地防災懇親会(10月25日)横須賀災害ボランティアネットワーク総会(5月9日)、赤十字奉仕団新年会(平成28年1月30日)に参加し、HSVN活動を紹介しました。

◇湘南ビーチ FM 番組出演(H28年3月4日)

柿本代表が湘南ビーチFMのトーク番組に出演し、災害ボランティア活動の大切さを熱く語りました。

HSVNの活動をネットで紹介

◇HSVNの活動を、HSVNブログで紹介しました。会員からも facebook や twitter で、活動情報の発信がありました。

4. その他活動報告

○平成 27 年度 HSVN 総会（5 月 24 日）

◇H26 年度決算の承認、H27 年度活動計画と予算の承認、規約の改正、役員改選を行ないました。
規約の主な改正部分

- ・下半期の途中入会については、年会費の半額を納めるものとする
- ・本会の役員として幹事 若干名をおき、幹事は会務を分掌する（チームリーダーを廃止する）
- ・役員の任期を2年とし、運営委員会は役員を持って構成する
- ・本会に顧問を置くことができる。

◇記念講演会：西伊豆町社会福祉協議会事務局次長 山本浩司氏

「災害ボランティアセンターの役割と運営の実際-被災現場を通した学びと訓練の必要性」

○運営委員会(拡大運営委員会を含む)を 10 回開催し、活動の推進や会員の交流等の企画について意見交換を図りました。

○『葉山災害ボランティアセンター設置運営マニュアル:様式集』の確定作業を完了しました。

○『災害ボランティアセンター連携会議』に 3 回参加。行政、社協等と情報の共有を行いました。

○KSVN(神奈川災害ボランティアネットワーク)運営委員会に 3 回参加し、地域団体との交流を図りました。

5. 会員数

H27 年度末の組織人員は、正会員 31 名、賛助会員 19 名。

平成 27 年度会計監査報告

2016 年 5 月 5 日	
会計監査報告書	
葉山災害ボランティアネットワーク 代表 柿本 秀二 殿	
会計監査	宮田 路子 
会計監査	西山 利廣 
葉山災害ボランティアネットワークの平成 27 年度会計監査を下記のとおり実施しましたので報告します。	
記	
監査実施日	平成 28 年 5 月 5 日
監査書類	平成 27 年度収支会計報告書 および 関係書類
監査結果	上記の書類について、厳正に監査を行った結果、公正、妥当に処理されていることを認めます。
以上	

平成 27 年度収支報告

葉山災害ボランティアネットワーク 平成27年度収支報告書

科 目	27年度予算(¥)	27年度実績(¥)	摘 要	【参考】H26年度実績 (¥)
I 収入の部				
1) 会費	50,000	40,000	(正会員28+賛助会員12)×@1,000	42,000
2) 助成金	100,000	118,213	活動助成金(社協) 被災地支援燃料代補助(KSVN)	100,000
3) 参加費	0	55,000	鹿沼緊急支援活動参加費11名×@5,000	
4) 寄付金	5,000	40,000	6件	13,770
5) 繰越金	184,855	184,855	27年度より	270,103
6) 繰入金				
7) 預金利息	60	34		49
収入合計	339,915	438,102		425,922
II 支出の部				
1 事業費				
1) ボランティアコーディネーター 養成研修費	65,000	19,200	コミュニティカレッジ受講料(2名)、訓練用 地図購入、受講会場までの交通費等	63,500
2) ボランティア訓練講師謝礼	10,000	33,240	講師謝礼、交通費等(社協と分担)	
3) ボランティアセンター	55,000	19,350	参加者弁当、飲料等	53,704
4) ボラバス派遣関係費	0	10,000	常総市被災地支援ボラバスに対する協賛	
5) 支援プロジェクト関係費	25,000	139,984	鹿沼被災地支援活動費(車両代、燃料 費、高速代、宿泊費用等)	23,360
6) 広報関係印刷費	3,000	0		
7) ネット広報費	0	0		
事業費計	158,000	221,774		140,564
2 管理費				
1) 加盟会費	13,000	13,000	KSVN¥10,000、葉山社協¥3,000	13000
2) イベント保険	5,000	0		
管理費計	18,000	13,000		13,000
3 事務費				
1) 会議費	10,000	2,000	町歩き懇親会会場費	3169
2) 交通費	10,000	0		
3) 通信費	25,000	12,376	総会案内はがき代、設置運営訓練案内は がき代、	20,068
4) 消耗品費	5,000	29,977	配布物コピー代、活動紹介展示パネル等 作成資材費	4,562
5) 機材購入費	35,000	0		59,704
6) 雑費	0	17,242	ふるさと広場(出店料、スタッフ昼食代) 語り場(飲料代)	
事務費計	85,000	61,595		87,503
4 災害支援準備金	50,000	0	災害支援派遣の準備金積み立て	0
5 繰越金	28,915	141,733	次年度へ	184,855
支出合計	339,915	438,102		425,922

【第 2 号議案】平成 28 年度活動計画(案)

<活動方針>

3.11 の地震・津波災害の悲しみから 5 年が経過しました。当初は関心が高かった災害に対する意識も、年数の経過とともに、どうしても緩慢になり、おろそかになってしまう傾向にありました。しかし、直近の熊本地震の発生は、災害に対する日ごろの備えを、さらに一層強化する必要性を私たちに示すものとなりました。

残念なことです、災害の発生を未然に防ぐことはできません。私たちは、災害から立ち直る活動に参加するという繰り返しの学習を通じて、被害の軽減を図る道を探す努力を続けて行きます。

大規模災害にあつては、被災者のニーズを把握し、支援ボランティアとの調整を図る“災害ボランティアセンター(VC)”の設置が求められます。VC の運営は、社協の要請に基づき、HSV N が主体的に協力して行うことになりますので、この設置運営訓練については **必ず毎年行う事業** と位置付けて、本年度も、引き続き丁寧に訓練に励んで行きます。

また、混乱の状況下で本団体が機能するためには、行政、社協、各種ボランティア団体、町内会、自治会等と常に顔の見える関係に居なければなりません。

よって、総ての活動を、**地域との交流を意識した内容**に位置付けます。

なお、災害の発生は予測できませんが、発生した場合に、すみやかに援助に駆け付けることができるように、**災害支援活動準備金** の予算化も行います。

<基本重点事項>

1. 会員のスキルアップと知識体験の共有
2. 正会員の発掘と賛助会員の拡大による人的・財政的基盤の強化
3. 関係機関・団体との連携強化と認識の共有
4. 会員の交流・参加機会の充実と結束の強化

<具体的活動内容>

○学習・訓練活動計画

◇VC 設置運営訓練を通じ、ボランティアコーディネーター養成を図る。

・葉山の地域に適した VC 運営を考える。

・「葉山町歩き」一色地区探検・堀内地区探検・長柄地区探検を行なう。

◇外部機関が主催するボランティアコーディネーター養成研修にメンバーを派遣し、習得した知識をもとに、葉山自前のボランティアコーディネーターの養成を図る。

◇「災害ボランティアセンター運営マニュアル」の点検、見直しを行なう。

◇防災訓練の催し会場等で、災害ボランティアセンターの役割の紹介を行なう。

○被災地支援活動計画

◇葉山町近隣の災害ボランティア活動団体と連携し、町民の被災地支援経験の機会を増やす事業を行う。

◇災害に機敏に対応できる支援体制として、“災害支援活動準備金”を積み立てる。

◇HSV N の会員が集う“葉山語り場”の内容を充実させ、情報の紹介や会員の親睦を図り、災害ボランティアネットワーク造りを行なう。

○広報活動計画

◇町内の各種イベント会場で、HSV N の活動を紹介する。

・葉山ふるさとひろば・ビッグ葉山マーケット・葉山つながる広場・葉山町総合防災訓練等

◇HSV N の活動を記録し、ネットなどを通じて紹介する。

○総務活動計画

◇月例拡大運営委員会を開催し、会員相互の交流、意見の交換を図る。

◇『災害ボランティアセンター連携会議』に参加し、行政、社協等と情報の共有を行なう。

以上

【第3号議案】平成28年度予算(案)

葉山災害ボランティアネットワーク 平成28年度予算 (案)

科 目	27年度予算 (¥)参考	28年度予算 (¥)	摘 要
I 収入の部			
1) 会費	50,000	50,000	正会員＋賛助会員 50名×¥1,000
2) 助成金	100,000	100,000	活動助成金(社協)
3) 参加費	0	0	
4) 寄付金	5,000	30,000	
5) 繰越金	184,855	141,733	前年度より
6) 預金利息	60	50	
収入合計	339,915	321,783	
II 支出の部			
1 事業費			
1) ボランティアコーディネータ 養成研修費	65,000	20,000	ボランティアコーディネーター養成研修費用等
2) ボランティア訓練講師謝礼	10,000	30,000	
3) ボランティアセンター 設置運営訓練	55,000	30,000	訓練使用機材・資料調達費、参加者飲料等
4) ボラバス派遣関係費	0	0	
5) 支援プロジェクト関係費	25,000	50,000	被災地支援物販および支援資料関係費
6) 広報関係印刷費	3,000	10,000	広報紙(会報)作成、活動企画資料印刷等
7) ネット広報費	0	0	
事業費計	158,000	140,000	
2 管理費			
1) 加盟会費	13,000	13,000	KSVN¥10,000、葉山社協¥3,000
2) イベント保険	5,000	5,000	
管理費計	18,000	18,000	
3 事務費			
1) 会議費	10,000	10,000	会議場賃料等
2) 交通費	10,000	10,000	KSVN出席交通費、近隣の災害ボランティア 団体との交流交通費等
3) 通信費	25,000	20,000	会報送付郵券等
4) 消耗品費	5,000	20,000	事務用品、会議資料用紙、録画メディア等
5) 機材購入費	35,000	10,000	
6) 雑費	0	20,000	
事務費計	85,000	90,000	
4 災害支援準備金	50,000	50,000	災害支援派遣の準備金積み立て
5 繰越金	28,915	23,783	次年度へ
支出合計	339,915	321,783	

【第 4 号議案】 役員改選(案)

退任

中村 和雄 : 副代表 を退任する

西山 利廣 : 会計監査 を退任する。

就任

西山 利廣 : 副代表 に就任する

中村 和雄 : 幹事 に就任する。

増田 佳恵 : 幹事 に就任する。

松元 美恵 : 会計監査 に就任する。

なお、平成 28 年度葉山災害ボランティアネットワーク運営委員会は以下のとおりとなります。

役職	氏名
代表	柿本 秀二
副代表	矢嶋 恵子
副代表	西山 利廣
会計	小峰 梅男
幹事	岡村 恭子
幹事	佐藤 文彦
幹事	松平 克己
幹事	吉田 見岳
幹事	中村 和雄
幹事	増田 佳恵
会計監査	宮田 路子
会計監査	松元 美恵
顧問	丸 恭輔

以上